

【集合】 合同・ナッジ理論活用

● 研修のねらい

- ・ 行動経済学・ナッジ理論※について、活用事例などを踏まえ理解する。
 - ・ ナッジを活用した、より効果的な事業施策への活用方法の基本スキルを資料作成演習により習得する。
- ※ナッジ(nudge)とは、「ひじでそっと押す」という意味。ひじをちょっとつついて「良い選択ができるように人々を手助けする」方法論です。

● この研修のおすすめポイント

- ・ 効果的な活用方法を学び、実践に繋がる資料作成演習も行います。研究と実践の第一人者の講義を聞ける貴重な機会をお見逃しなく！

● 日程・開催場所

令和6年9月6日（金） 自治総合研修センター（朝日生命胡町ビル）

● 予定人員

36人（県16人、市町20人）

● 対象者

（県・市町）希望する職員

● 講師（予定）

《大阪大学特任教授（常勤） 大竹 文雄》

大阪大学大学院経済学研究科教授等を経て、2021年から現職。専門は行動経済学・労働経済学。格差問題の実態と原因を実証した著書『日本の不平等—格差社会の幻想と未来』で日本学士院賞、サントリー学芸賞、日経・経済図書文化賞等を受賞。著書多数。

● 標準プログラム

1日 合計6.0時間

9:25 - 9:30 オリエンテーション

9:30 - 16:30 ・ 行動経済学・ナッジ理論の基礎知識

・ 自治体の活用事例

・ ナッジを活用した問題解決・資料作成・演習

◇受講者の声

- ・ 最初の講義がかなりボリュームがありましたが、もっと聞きたかったくらいです。事例紹介は、身近な事例でとても分かりやすかったです。
- ・ 事前学修動画の復習となる内容があり、理解が深められました。わかりやすい事例が多数であったこと、また、各職場に適応したワークの内容であったことでかなり自分事として考えられることができました。